広報 すみた
2026
11
No.806



ちびっこ消防士、出動!

11月12日、有住保育園（紺野留実子園長）で幼年消防教室が開催されました。この日は12人の園児が参加し、避難訓練や濃煙体験、放水などに挑戦しました。

放水体験では、消防士に手伝ってもらいながら、勢いよく飛び出す水に大喜び。さまざまな体験を通して、火災から身を守る方法を楽しく学びました。

特集 地域の移動を守るために。
― 住田町の公共交通のこれから ―

町では、人口減少や少子高齢化が進む中でも、誰もが安心して移動できる環境を将来にわたって維持していくため、「住田町地域公共交通計画」を策定しています。今回は、計画の内容と、その取り組みの一つである「高校生帰宅乗合タクシー」について紹介します。

申請先・お問い合わせ
住民税務課 生活環境係
電 46-2113

なぜ、公共交通が必要なのか

町ではこれまで、民間路線バスの廃止などに伴い、町が運行を引き継ぐなど工夫しながら、町民の移動手段を確保してきました。

しかし、人口減少や少子高齢化により、公共交通の利用者は減少する一方で、運行にかかる町の負担は増加しています。

また、高齢者の運転免許返納後の移動手段の確保や、高校生の通学・帰宅の支援なども必要となっています。このような状況を踏まえ、地域の利便性や持続性を高めた公共交通ネットワークが必要となっています。



住田町地域公共交通計画とは？

町の公共交通の課題に対応するため、令和７年度から令和11年度までの5年間を計画期間とする「住田町地域公共交通計画」を策定しています。

教育や福祉など、さまざまな分野と連携しながら、誰もが安心して移動できる持続可能な公共交通体系の構築を目指しています。

計画期間
令和７年度～令和11年度
(5年間)

計画の基本理念
人とまちをつなぐ持続可能な地域交通の実現
～安らぎとにぎわいのあるまちを目指して～

基本目標（計画の柱）

1. 既存交通と新たな交通による利便性の向上
2. 次世代まで利用可能な交通体系の構築
3. 公共私による地域公共交通の創出

これからの展開について ― 持続可能な公共交通に向けて ―

町では、地域公共交通計画に基づき、高校生帰宅乗合タクシーやデマンド交通の運行のほか、スクールバスの混乗や公共ライドシェアの検討など、地域の移動を支える多様な取り組みを進めています。

町民の皆さんが、これからも安心して暮らし続けられるよう、地域の実情に合った持続可能な公共交通の実現を目指します。

人口減少や高齢化が進む中、公共交通を取り巻く環境は大きく変化しており、これまでの交通手段を維持するだけでなく、町民一人一人の生活や地域の実情に合った移動手段を確保していくことが重要です。そのため、既存のコミュニティバスなどを生かしながら、高齢者の移動支援や地域住民同士の助け合い、交通機関をつなぐ拠点づくりなど、多様な取り組みにより、町全体の交通環境の充実を目指します。

●高齢者が安心して利用できる交通環境づくり



- 路線バスやデマンド交通の乗車体験会の実施
- 地区公民館やサロンなどでの公共交通出前講座
- 運転免許証を自主返納した人への助成券の配布
- 高齢者や障がいのある人も乗り降りしやすい車両の導入促進

●地域の助け合いによる移動支援

- 公共ライドシェアの導入や運行支援
- おでかけサロンなど、地域の助け合いによる移動支援の導入支援
- 水沢江刺駅など、既存の交通手段だけでは移動が難しい場所への移動方法の検討

●交通交流拠点の整備

- 旧JRバス世田米駅を中心とした交通交流拠点の整備の検討
- タクシー待機場やバス・アンド・ライド用駐車場など、乗り継ぎ機能の強化
- デジタルサイネージなどによる乗り換え情報の提供
- 観光情報の発信やイベント開催、快適な待合空間の整備

実証運行中

計画に基づく取り組みの一つ

高校生帰宅乗合タクシー事業

町外の高校に通う生徒の帰宅を支える乗り合いタクシーです。

運行概要

対　象	事前登録を済ませた方	到着場所	世田米駅前
運行日	月曜日～金曜日（平日）	運　賃	500円
出発時刻	午後7時	車　両	ジャンボタクシー（定員9人）
出発場所	夢アリーナたかた駐車場	予約期限	運行日前日の午後3時まで

世田米地内は、運行ルート上であれば途中下車も可能です。

利用の流れ

LINEのオープンチャットを使って予約します

STEP1 事前登録

住民税務課に利用申請書を提出します。

STEP2 乗車予約（LINE）

LINEの「オープンチャット」のイベント機能から乗車予約をします。

STEP3 乗車・支払い

当日、タクシーに乗車し、運賃500円をお支払いください。

予約について

利用には事前登録が必要です。

- 予約できるのは翌週分までです。
- 毎週月曜日に翌週分の予約ができるようになります（月曜日が祝日の場合は翌営業日）。
- 予約は運行日前日の午後3時まで可能です。



支える人、利用する人の声から いま、町の交通を考える

高校生帰宅乗合タクシーの運行を支える事業者と、実際に利用している高校生に話を聞きました。それぞれの声から、地域の交通が果たす役割を考えます。



インタビュー❶ 運行を支える気仙タクシー

株式会社気仙タクシー
今野 拓也 さん

保護者の送迎負担を減らすとともに、バスの便数や時間が限られる中で、高校生の帰宅手段を確保できることに意義を感じています。運行中は、生徒の希望する降車場所を確認し、子どもを乗せる責任を持って安全運行に努めています。また、通常のタクシーに比べ、費用を抑えて帰宅できることも、この取り組みの良さだと思います。



インタビュー❷ 利用している高校生の声

佐藤 祐人 さん
（高田高1年）

普段は帰宅時に家族に迎えを頼んでいますが、乗り合いタクシーを利用し始めたことで、家族の送迎にかかる負担が減り、とても助かっています。また、同じタクシーを利用する友人と一緒に過ごせることも楽しみの一つです。

令和8年度

住田町人事行政の運営等の状況

町職員の任用、給与、服務や勤務条件など、人事行政の運営状況をお知らせします。



問 総務課 行政係　電 46-2112

1 任免及び人数の状況

◆職員の採用状況（令和7年度）

※令和8年4月1日付採用職員

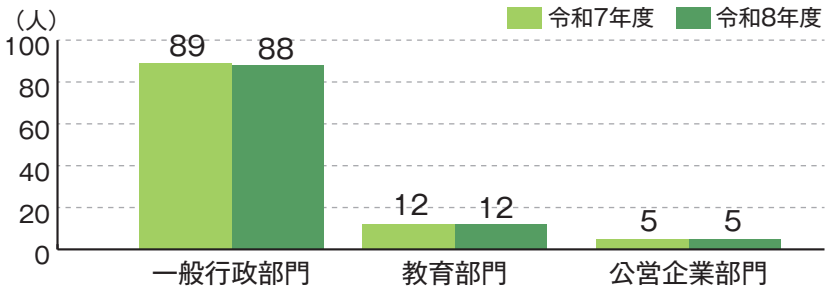
区　分	大学卒	短大卒	高校卒	選考	合計
一般事務	2人	―	1人	1人	4人
土木技師	―	―	―	2人	2人
保健師	1人	―	―	1人	2人
計	3人	―	1人	4人	8人

◆職員の退職状況

（令和7年度中）

定年退職	1人
勧奨退職	0人
普通退職	8人
その他	0人
合　計	9人

◆部門別職員数の状況（各年4月1日現在）



職員数（全体）
105人

前年度からの増減
▲1人

2 給与の状況

◆人件費率（令和7年度 一般会計決算）

住民基本台帳人口
（R8.3.31現在）
4,501人

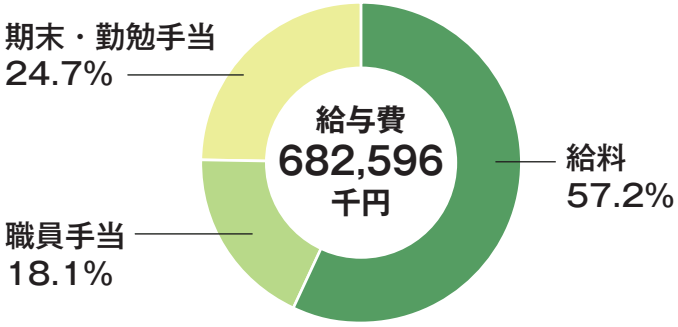
歳出総額
5,095,957千円

人件費
1,084,950千円

人件費率
21.3%
（前年度 18.7%）

◆給与費の状況（令和8年度 一般会計予算）

区　分	金　額
給　　料	390,432千円
職員手当	123,743千円
期末・勤勉手当	168,421千円
計	682,596千円



3 平均給料月額・平均年齢（令和８年4月1日現在）

区　分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	310,888円	39.3歳
技能労務職	280,467円	55.6歳

4 初任給・経験年数別平均給料月額（一般行政職・令和８年4月1日現在）

◆初任給

区　分	初任給
大学卒	239,300円
高校卒	208,000円

◆経験年数別平均給料月額

経験年数	10年～14年	15年～19年	20年～24年
大学卒	280,000円	321,200円	335,800円
高校卒	279,600円	－	340,300円

5 職員手当の状況（令和８年4月1日現在）

◆期末・勤勉手当



区分	支給月数
期末手当	2.525月分
勤勉手当	2.125月分
計	4.65月分

◆退職手当



勤続年数	支給率（自己都合）
20年	19.6695月分
25年	28.0395月分
35年	39.7575月分

◆超過勤務手当

正規の勤務時間を超えて勤務した場合に、勤務1時間当たりの単価に勤務時間数を乗じて支給します。



◆その他の手当

手当名	主な支給内容（月額）
扶養手当	扶養親族のある職員に支給 （子：13,000 円、父母など：6,500 円）
住居手当	借家などに居住する職員に支給（上限：27,000円）
通勤手当	自家用車などの通勤距離に応じて支給（上限：29,500円）
寒冷地手当	11～3月の期間に支給（8,200円～19,800円）

6 特別職の報酬などの状況（令和８年4月1日現在）

区　分	報酬月額
町　長	675,000円
副町長	556,000円
教育長	535,000円

区　分	報酬月額
議　長	258,000円
副議長	207,000円
議　員	196,000円

7 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

勤務時間
1日 7時間45分
（8:30～17:15/休憩60分）

年次有給休暇
平均取得日数 12.9日
（令和7年度中）

育児休業取得者数
男性 0人　女性 1人
（令和7年度中新規取得者）

研修の実施状況
（令和7年度）

基本研修	30人
専門研修	19人
特別研修	25人
計	74人

詳しい内容は、町ホームページで公開しています。
▶住田町ホームページ「人事行政の運営などの状況の公表」

小雨を吹き飛ばす〝熱気〟と〝笑顔〟
住田町文化・産業まつり



10月23日から25日まで文化産業まつり、産業まつりが役場や農林会館、社会体育館を会場に開催されました。

23日は、農林会館で「小中高連携文化発表会」を開催。海外派遣事業の報告や小・中学生による合唱、特別ゲストのソプラノ歌手・中山美紀さんらのミニコンサートなどが披露されました。

25日は、時折小雨が降るあいにくの天気となりましたが、会場には地元の町民をはじめ、多くの観光客が足を運び、賑わいを見せました。





役場駐車場や庁舎内の交流プラザには、地元の特産品が並ぶ物産販売や飲食、体験コーナー、抽選会といった多彩なブースが出店し、どこも長い行列ができるほどの盛況ぶりでした。

また、屋外の特設ステージでは、歌や伝統芸能の披露をはじめ、迫力ある丸太切り大会や恒例のもちまきなどが行われ、観客から大きな拍手が送られました。さらに町民ホールでは、琴の演奏や民謡、華やかなダンス、子どもたちに大人気の戦隊ショーなど、幅広い世代が楽しめるプログラムが会場を大いに盛り上げました。

このほか、庁舎周辺では自衛隊や警察などの働く車の展示会や社会体育館での力作ぞろいの作品展も同時開催されるなど、見どころ満載のイベントとなり、終日活気と笑顔にあふれていました。











住田町の未来を、みんなで考える。
「すみた自分ごと化会議」第1回を開催





▲町の将来像や課題について、意見を出し合う参加者

開催に至った経緯

町外に住む人との継続的なつながり（関係人口）の拡大を図るため、国が進める「ふるさと住民登録制度」の活用を見据え、町民や地域団体とともに、住田町に合った取り組みを考える必要があることから、今回の会議を開催することになりました。

すみた自分ごと化会議とは？

町の現状や課題を、町民一人ひとりが自分自身に関わることとして捉え、これからの住田町について考え、話し合う場です。

参加メンバーの構成・選出

無作為に選んだ町民500人に案内を送り、参加を希望した人のほか、公民館関係者、学生、町職員などで構成されています。全4回を通じで約30人が参加予定です。

講師紹介

柏崎 亮太 さん
柏崎企画



第1回の様子

11月1日、町役場町民ホールで第1回の会議を開催し、17人が参加しました。参加者は4つの班に分かれて、「まちがこれからどうなってほしいか」「生活の中で困っていることは何か」などについて、意見を交わしました。



話し合いで出された主な意見

- 公共交通の手段が少ない
- 買い物できる店が限られている
- 鳥獣被害が深刻化している
- 空き家の管理が課題
- 星空の美しさは町外の人から評価されている
- 人と人、地域を大切にしている

など

今後の取組・日程等

令和9年1月まで、全4回の会議を予定しています。今後も講師の助言を受けながら、町外の人との関わり方や、住田町の未来について具体的に考えていきます。

今後の開催予定（全4回）

第2回	11月29日㈰	町外との関わり方を考える
第3回	12月20日㈰	アイデアを具体化する
第4回	令和9年1月31日㈰	これからの取組をまとめる

民間の知見を生かし、住田町の新たな可能性を拓く
地域活性化起業人・久保美和子さんが着任



▲小向副町長に3年間の事業構想を説明する大津社長と久保さん

地域活性化起業人として10月1日に着任したstosdesign株式会社（大津知士代表取締役）の久保美和子さんが10月30日、役場を訪れ、小向正悟副町長にあいさつと今後3年間の事業構想を説明しました。

地域資源がもつ魅力を十分に発信しきれていないことや、地域の取り組みを担う人材・体制づくりなどの課題があります。久保さんは、こうした課題に対応するため、民間企業が持つ、専門的な知識やノウハウを生かし、観光振興や情報発信、運営体制の確立と担い手の育成などに取り組みます。

3年間の事業構想

地域の声を聞きながら、段階的に取り組みを進め、任期終了後も町で継続できる体制づくりを目指します。

地域活性化起業人とは？

三大都市圏などの民間企業の人材を地方自治体が受け入れ、専門的な知識や経験を生かして、地域の課題解決や活性化に取り組む制度です。

着任者の紹介

久保（くぼ） 美和子（みわこ） さん
stosdesign 株式会社
任期：3年間



1年目▶土台づくり

- 町の現状や既存の取り組みの把握
- 地域資源の整理・発掘
- 町民・事業者・関係団体との関係づくり

2年目▶具体化

- 1年目で得た意見・アイデアの事業化
- 国や県の支援制度の活用
- 実証的な取り組みの実施

3年目▶検証・定着

- 取り組みの検証・改善
- 磨き上げと連携の強化
- 継続できる運営体制の構築

重点的に取り組むこと

観光振興

地域資源を生かした観光コンテンツの発掘・磨き上げや、来訪につながる仕組みづくりを進めます。

情報発信の強化

町ホームページの改善のほか、SNSなど多様な媒体を活用し、町の魅力や取り組みを分かりやすく、効果的に発信します。

関係人口の拡大

町に関心を持つ人とのつながりを広げ、交流や再訪の機会を創出し、地域のにぎわいにつなげます。

運営体制の確立と担い手の育成

地域の取り組みが継続できる運営体制を整え、町内で活躍する人材の発掘・育成を進めます。

地元食材を食から学ぶ
住田の恵みを味わう給食会

10月20日、有住小学校（中川由子校長）の3・4年生を対象に、食育授業と「岩手とり肉の日」学校給食会が開催されました。一般社団法人岩手県獣医師会（佐々木一弥会長）と岩手県チキン協同組合（吉川達哉理事長）が主催したもので、とり肉の生産過程やおいしさについて学びました。

児童たちは、まずバスの車内から住田フーズ株式会社の工場を見学。その後、同社の生産体制などを紹介する映像を視聴したほか、鶏肉の解体実演などを通して、とり肉について理解を深めました。

その後、行われた給食会では、住田フーズのとり肉を使用した、たれかつが登場。児童たちは「とり肉が提供されるまでの過程を知ることができたので、感謝の気持ちを持ってこれからも食べたい」と頬張りながら表情をほころばせていました。







また、11月10日には住田中学校（佐々木勝義校長）で、給食を通じ、食への感謝の気持ちを育み、地元生産者の取り組みなどへの理解を深めることを目的とした「秋の恵み給食会」が開かれました。

対象となったのは2年生で、この日は、生産者を代表し両向ピア・ファーム株式会社から水野克宏さん、有限会社ありす畜産からは水野充さんが出席。一緒に給食を食べました。

この日の献立は、生産者らから提供された米や野菜、豚肉がふんだんに使われました。生徒らは「地元の食材や生産者の方々、学校給食に関わる皆さんに感謝」とおいしさをかみしめている様子でした。

平泉を支えた黄金の謎に迫る
特別講演会「住田の金と平泉」を開催

11月15日、町農林会館大ホールで行われた「令和8年度住田町まちづくり大会」において、日本遺産「みちのくGOLD浪漫」の構成自治体への追加認定を記念した、特別講演会「住田の金と平泉」が開催されました。

本講演は、住田町が日本遺産に新たに加わったことを祝うとともに、地域が誇る豊かな歴史や文化の魅力を住民と共有し、今後のまちづくりへとつなげる目的で企画されたものです。

当日は会場に多くの町民や歴史ファンらが集まり、講師を務める平泉世界遺産ガイダンスセンター長の八重樫忠郎氏の説明に耳を傾けました。

講演では、世界遺産・平泉の絢爛豪華な黄金文化を支えたのは、実は気仙地域の金だったという有力な説を中心に解説が行われました。本町と平泉との深い歴史的なつながりや、当時の人々の営み、みちのくの金が紡いだ壮大な歴史のロマンが分かりやすく語られ、今回の講演を通じて、参加者は本町の歴史的価値を再認識する大変貴重な機会となりました。





ボッチャを通じて交流を深める

10月30日、住田町身体障害者協助会（菊池一夫会長）が主催する第5回身障協会長杯ボッチャ交流大会が町農林会館で開催されました。この日は、協助会員やあゆっこ会員など17人が参加し、ボッチャを楽しみながら交流を深めました。

ボッチャは、年齢や障がいの有無に関係なく、誰でも一緒に楽しむことができるスポーツで、目標にボールをどれだけ近づけられるか競います。力加減や投げる方向を考えながらプレーするため、初めての人でも楽しめる一方で、作戦を考える面白さもあります。

大会では、参加者たちが一投ごとにボールの行方を見守り、仲間のプレーに声援を送る姿が見られました。



FSC®森林認証 年次監査が実施されました

10月13日から14日の2日間にわたり、FSC®森林認証の年次監査が行われました。

FSC®森林認証とは、「環境・社会・経済の面で持続可能な森林管理が行われていること」を認証する国際的な制度です。本町では、入会希望者の所有林と町有林で組織された「住田町森林認証グループ」において平成16年の認証を取得して以来、毎年度の監査を経て認証を継続しています。

書類審査と現場審査を受検した結果、重大な不適合の指摘はなく、継続して認証を取得できる見込みとなりました。この結果を受け、町では今後も適切な森林管理に努めていきます。



▲現場審査の様子

旬の野菜や多彩な出店が勢揃い しもありすフリーマルシェを開催

11月3日、下有住地区公民館で「しもありすフリーマルシェ」が開催されました。下有住いきいき活動協議会（吉田次男会長）の主催で、地元店を中心に多くのブースが出店し、採れたての野菜やお米、雑貨など多彩な商品が並びました。

なかでも、事務局の松田美代子さんがおすすめする「放課後子ども教室ショップ」では、子どもたちが手作りしたビーズのキーホルダーなどを自ら接客して販売する学習にも取り組んでいました。

また、秋を感じる山々を背景にしたトラックステージでは、地元出身の小田晃生さんによるミニライブが行われ、心地よい音楽でイベントを大いに盛り上げました。





戦没者を追悼し、恒久平和への願いを新たに

町戦没者追悼式が11月6日、役場町民ホールで執り行われ、町遺族会（水野養一会長）の会員や町内外の各種団体関係者ら約60人が参列しました。

式では、参列者全員による黙とうがささげられた後、小向正悟副町長による式辞の代読、来賓らによる追悼の言葉が述べられました。

水野会長は追悼の言葉で、「戦後81年が経過し、戦争を知らない世代が大多数を占めるようになった今、戦争の記憶が薄れつつある。戦争の悲惨さや平和の尊さを後世に語り継いでいきたい」と訴えました。また、家族や故郷を案じながら尊い命をささげた戦没者への思いを述べるとともに、世界各地で今なお紛争が続いている現状を踏まえ、二度と戦争を繰り返さない社会の実現と恒久平和への願いを語りました。

最後に、参列者一人一人が慰霊塔に花を手向け、戦没者の冥福を祈り、平和への思いを新たにしました。



町内小学校の統合に向けて

問 教育委員会 学校教育係　電 46-3863

令和10年4月に、新設統合と世田米小学校校舎の使用へ

町では、児童数の減少に対応し、子供たちにとってより良い教育環境を確保するため、町内小学校の統合に向け、保護者や学識経験者、地区公民館長など19人で構成する「住田町学校統合推進協議会（佐藤拓巳会長）」（以下、協議会。）を組織し協議を進めています。11月には、保護者や地域住民を対象とした説明会を開催し、寄せられた意見やアンケート結果を踏まえ、協議会で統合の基本方針を決定しました。







地区説明会を開催

11月6日に世田米地区、9日に有住地区で住民説明会を開催しました。両会場合わせて51人（世田米地区32人、有住地区19人）が参加し、町から統合の時期や方法、使用する校舎などについて説明しました。参加者からは、準備期間の確保や児童同士の交流、放課後の居場所、通学手段など、さまざまな意見や要望が寄せられました。

アンケート結果

説明会で実施したアンケートには49人から回答がありました。統合の時期については「できるだけ早くすべき」が33％、「できるだけ遅らせるべき」が22％、「いつでも構わない」が35％でした。また、統合方法は「新設統合」が72％、使用する校舎は「世田米小学校校舎」が82％と、いずれも最も多い回答となりました。



協議会で統合の基本方針を決定

協議会では、統合時期について慎重な準備を求める意見がある一方、有住小学校では令和10年度に全学年が※複式学級となる見込みであることから、特に新1年生の学習環境を考え、早期に統合する必要があるとの意見が出されました。こうした意見を踏まえて協議した結果、次の3つの方針を決定しました。

※児童数の減少などにより異なる学年の児童が同じクラスで学ぶこと

協議会で決定した3つの方針

統合時期	令和10年4月
統合方法	新設統合
使用校舎	世田米小学校校舎

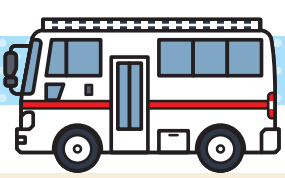
統合に向けた配慮事項

統合に当たっては、子どもたちが安心して新しい学校生活を始められるよう、事前の交流活動や施設見学、教員配置への配慮、学習や生活を支える支援員の配置、スクールバスによる通学支援、放課後の居場所の確保などに取り組みます。

今後の検討事項

今後は、学校の名称や校歌・校章、通学方法、子どもたちの受け入れ準備など、統合に向けた具体的な内容について協議を進めます。また、小中一貫教育や新校舎の整備を含めた将来の教育環境についても、引き続き検討していくとともに、保護者や地域の皆さんへの情報共有を図りながら、子どもたちにとってより良い教育環境の実現に向け、統合の準備を進めていきます。



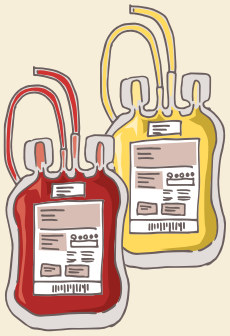


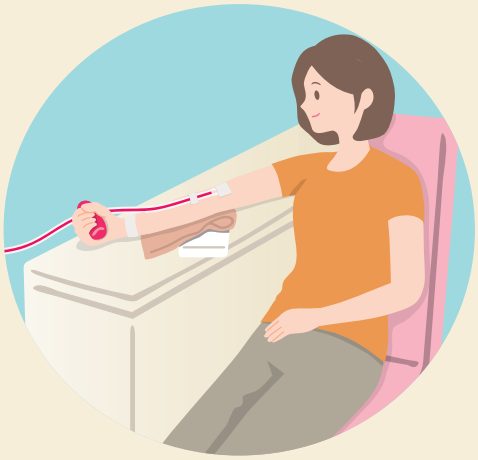
「献血にご協力をお願いします」

献血が必要な理由をご存じですか？

医療技術が進歩した現在でも、輸血に必要な血液は人工的に作ることができず、長期間保存することもできません。そのため、必要な血液をいつでも安定して確保するには、皆様からの継続的な献血が欠かせません。

献血は、誰かの命を救うことができる身近なボランティアです。



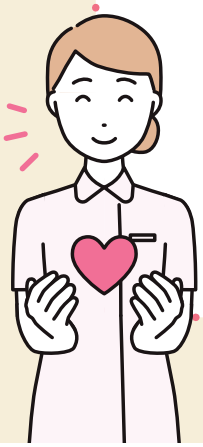


400ml献血をお願いします！



血液型が同じでも、血液の性質には個人差があります。このため、輸血を受ける患者にとっては、血液の提供者が多くなるほど、発熱などの副作用が起こる可能性が高くなります。できるだけ少ない人数の献血者から必要な血液量を確保できるよう、400ml 献血へのご協力をお願いします。

なお、献血は、当日の問診などで健康状態を確認した上で行います。



下記日程により献血（全血献血）を行います
皆様のご協力をお願いいたします

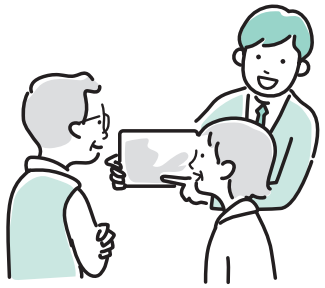
●期日／**12月8日㈫**

●時間・場所／10：00～11：30　住田町役場
13：00～16：30　住田町役場



問 保健福祉課 健康推進係　電 46-3862

お知らせ
Information



住田町

開庁日時
平日（月～金）8:30～17:15

所在地
〒029-2396
気仙郡住田町世田米字川向88-1

問合せ
TEL 0192-46-2111(代)
FAX 0192-46-3515

住田町の人口

総人口	4,405人	(−11)
うち男性	2,206人	(−2)
うち女性	2,199人	(−9)
うち外国人	124人	(+4)
世帯数	1,984世帯	(−3)

※10月末日現在　(　)内は前月比

お知らせ

申 申込や予約が必要
E メールアドレス
問 お問い合わせ先
電 電話番号　F FAX

※申込が不要の場合は、記載しておりません。
※掲載の情報は11月25日現在のものです。

くらし

し尿収集の年末年始の休業日について

年内のし尿収集を希望される場合は、お早めにお申し込みください。

●**休業日**
12月31日(木)～1月5日(火)

申 (有)気仙広域清掃
電 27-9321(くみにいきます)（月～金曜日の午前8時～午後5時）
FAX 27-1145
（住所・氏名・電話番号を明記の上お送りください）

法テラス気仙出張所閉鎖のお知らせ

法テラス気仙は、12月28日(月)をもちまして業務を終了し、閉鎖となります。法テラスは、今後も住民の皆さんのお悩みを解決するために一層努めてまいります。出張所閉鎖後は、法テラス岩手までお問い合わせください。

問 法テラス岩手（盛岡）
電 0570-078382

令和9年住田町新年交賀会の開催について

令和9年新春を迎えるにあたり、町民の皆さまの賀詞交換の場とするため、新年交賀会を次のとおり開催します。多数の参加をお待ちしています。

●**日時** 令和9年1月4日(月) 11時～12時30分
●**場所** ホテルグリーンベル高勘
●**会費** 1人 4000円
※当日、会場の受付で申し受けます
●**申込方法** 12月18日(金)までに電話またはFAXで申込み

申 問 住田町商工会
電 46-2311
F 46-3613

釜石線について考えるシンポジウム
「マイレールDAY 2026」
～鉄道の大切さ、今日は一日考えよう～

JR釜石線の魅力や生活利用について考える
シンポジウムです。皆様の参加をお待ちしております。

●日時／12月13日(日)
12:30～15:00（11:30受付開始）
●場所／釜石市民ホールTETTO　ホールA
●内容／【第1部】基調講演
『ローカル線もまちも元気に』～みんなで力を合わせて～
ひたちなか海浜鉄道株式会社 代表取締役社長　吉田千秋さん
【第2部】トークセッション
「線路は続くよ、どこまでも。」～みんなで話そうJR釜石線～
コーディネーター：天津木村さん
特別ゲスト：石原良純さん、忠犬立ハチ高さん

入場無料

問 マイレールプロジェクト運営事務局（IBC岩手放送 企画事業部内）
電 019-623-3137

住田町特産品販売センター
住田のおいしさ・楽しさを発信！
egusto sumita
イーガストすみた
住田町世田米字赤畑12-2
☎0192-47-5666　FAX 0192-47-5667

あなたの夢をお手伝いします！
基礎技能 ＋ 目視外講習会
実施日／12月8日
会　場／遠野ドライビングスクール
料　金／181,100円（税込）
三陸ドローンスクール
お問い合せは TEL 0198-63-2080（遠野DS）三陸ドローンスクール 検索

けせん地方就農相談会を開催

農業に興味を持っている方や意欲ある農業後継者を円滑に就農に結びつけるため、就農に向けた各種情報の提供を行ったり、各種相談に応じ円滑な就農に結びつけることを目的として就農相談会を開催します。

●日　時／12月13日㈰　13：00～15：30
●会　場／陸前高田市総合営農指導センター　研修室
（陸前高田市米崎町川崎238-1）
●内　容／
1. 各種就農支援情報の提供
2. 大船渡地方で栽培されている園芸品目などの紹介
3. 新規就農に向けた農地の確保や研修などの各種相談対応

●対象者／
1. 気仙地方で、独立・自営就農や農業経営の継承を希望している方
2. 農業法人などでの就業、研修を希望している方
3. 近い将来の就農に向けて、研修や農業体験を希望している方

申 問 大船渡農業改良普及センター　電 27-9918

岩手県民手帳の販売について

2027年版の岩手県民手帳を役場企画財政課と上有住地区公民館で販売しております。数に限りがありますので、購入を希望される方はお早めにお買い求めください。

●**販売期間**　令和9年1月15日㈮まで
●**手帳の種類と金額**　県民手帳（通常版・限定版）1000円
●**販売場所**　企画財政課窓口・上有住地区公民館

問 企画財政課 情報戦略係　電 46-2114

岩手県最低賃金が改正されます

●**改正額**　時間額　1090円
●**発効日**　12月1日㈫

各種助成金も積極的にご活用ください。詳細は、岩手労働局ホームページをご覧ください。

詳細はコチラ

問 岩手労働局労働基準部賃金室　電 019-604-3008

青色申告特別控除の見直しについて（令和８年度税制改正）

問 大船渡税務署　電 26-3481

令和８年度税制改正により、令和９年分確定申告以降、青色申告されている個人事業主などの方の青色申告特別控除の見直しが行われます。

令和９年分以降の確定申告で青色申告特別控除（75万円又は65万円）を適用するためには、e-Taxの利用や複式簿記による記帳などが必要となることから、適用をご検討の方で対応がお済みでない場合は、お早めの準備をお願いします。

【主な改正事項】
●複式簿記による青色申告特別控除（75万円又は65万円）の適用は、e-Taxが要件となります。
●簡易簿記による青色申告特別控除（10万円）の適用は、前々年の収入が1,000万円以下の方などに限定されます。

詳細につきましては、二次元コードからリーフレットをご確認願います。

【各リーフレット】

No.	リーフレット	二次元コード
1	【令和9年分確定申告から適用】優良な電子帳簿の保存またはデジタルシームレス保存により75万円の青色申告特別控除を適用しましょう!（令和8年6月）	
2	簡易簿記による10万円の青色申告特別控除を適用している皆様へ令和9年分以後の所得税について、事業所得または不動産所に係る、10万円控除要件が変わります!（令和8年4月）	
3	事業所得や不動産所得などのある方には帳簿の記帳・保存義務があります！（令和8年6月）	

補聴器相談会開催!
住田町農林会館　10:00～12:00
八日町集会センター　14:00～15:00
12月16日水
補聴器購入費助成制度、医療費控除のご相談も承っております！
㈱愛ネット補聴器
〒022-0003　大船渡市盛町字木町13-5
●定休日／火曜日
●営業時間／10：00～18：00
●☎0192-47-3314
愛ネット補聴器は耳鼻咽喉科と連携のうえ補聴器装用をおすすめしております

三陸のきれいな海を後世まで
水質保全に貢献します
stabil
浄化槽保守点検 スタビール
高田営業所　〒029-2205 陸前高田市高田町字荒町103番地5
TEL 0192-55-5538　FAX 0192-55-5510
米崎営業所　〒029-2206 陸前高田市米崎町字和方119-9
TEL 0192-54-4843

住宅用火災警報器、定期的に点検していますか？

皆さんのご自宅に設置されている住宅用火災警報器は、火災をいち早く感知し、音や音声で知らせてくれる大切な機器です。いざというときに確実に作動するよう、日頃から適切に維持管理しましょう。

●定期的に作動確認をしましょう

住宅用火災警報器の「テストボタン」を押すか、引きひもがある場合はひもを引いて、正常に作動するか確認しましょう。確認方法は機種によって異なるため、取扱説明書をご確認ください。

●お手入れをしましょう

警報器にほこりなどが付着すると、火災の煙を感知しにくくなることがあります。定期的に乾いた布などで汚れを取り除きましょう。

●設置から10年を目安に本体を交換しましょう

住宅用火災警報器は、経年劣化や電池切れなどにより、正常に作動しなくなるおそれがあります。設置年月や製造年を確認し、設置から10年を目安に本体の交換を検討しましょう。

また、「電池切れです」などの音声が流れた場合は、取扱説明書を確認し、適切に対応しましょう。

大切な命と財産を火災から守るため、住宅用火災警報器の点検・お手入れ・交換を忘れずに行いましょう。

問 大船渡消防署 住田分署予防係
電 46-2119

～いわておかえりキャンペーン～ 年末年始に帰省されるご家族・ご友人にお知らせください

県では、県外から帰省される方を対象に、岩手で働く魅力などを発信する「いわておかえりキャンペーン」を実施します。

詳細はコチラ

●期間 12月1日(火)～令和9年1月31日(日)

問 県定住推進・雇用労働室
電 019-629-5588

講座 消防関係試験日程のお知らせ

【危険物取扱者試験】

●日時 令和9年3月20日(土)

●場所 盛岡市・奥州市

第17回 気仙がんを学ぶ市民公開講座 「気仙地域の医療を知る」

毎年のように地域の医療環境は、厳しい状況が伝えられています。一方で、ドクターカーの運用開始と釜石大槌地域への運用拡大、放射線医師の赴任による体制の強化、高田病院のレスパイト入院の受け入れなど、地域の医療を守るための働きもなされております。

地域の医療をさらに知るため、参加してみませんか？

●日時／12月12日(土) 13:30～15:30（開場12:30）
●会場／大船渡市民文化会館　リアスホール
マルチスペース（大船渡市盛町字下舘下18-1）
●対象／気仙地域の一般の方々および医療従事者
●定員／120名（事前予約不要）　**※参加費無料です**

※体調不良がみられる場合は、参加を自粛いただきますようお願いします。
※感染症などの流行状況によって、マスクの着用をお願いする場合がございます。

◆救急災害医療を知る
岩手県立大船渡病院
副院長兼医師事務支援室長兼災害医療科長
山田　裕彦

◆県立高田病院を知る
岩手県立高田病院　院長　阿部　啓二

◆放射線医療を知る
岩手県立大船渡病院　放射線科長　大山　翼

問 岩手県立大船渡病院　がん相談支援センター
電 0192-26-1111　FAX 0192-27-9285
（受付時間　平日8:30～17:00）

【主催】気仙地区がん診療連携協議会
【後援】岩手県がん診療連携協議会、東海新報社

町公共施設予約システムが稼働中です
町内公共施設の利用予約が、お持ちのスマートフォンやパソコンから可能になりました。ぜひご利用ください。
★問い合わせ　企画財政課 情報戦略係　☎46-2114

省エネ家電のことなら当店へお気軽にご相談ください
クマガイ電化サービス
住田町上有住字八日町82
☎48-2255　携帯 090-2845-1444

※乙種第４項のみ実施
●**受付期間**　令和９年２月15日(月)～２月22日(月)
※電子申請のみ受付
【消防設備士試験】
●**日時**　①令和９年２月20日(土)　②令和９年２月27日(土)
●**場所**　①盛岡市　②奥州市
●**受付期間**　令和９年１月５日(火)～１月12日(火)
（注）第10回の危険物取扱者試験は電子申請のみの受付となりますのでご注意ください。電子申請はセンターＨＰからお申込みください。

申込みはコチラ

※消防設備士の試験案内・願書は当センター、各消防本部、消防署などに常置しています。
申問　一般社団法人消防試験研究センター岩手県支部
電　019-654-7006

相談

サポステ 就職相談会

●**日時**　①12月２日(水)、16日(水)　10時～12時　②12月９日(水)　10時～12時
●**場所**　①ハローワーク大船渡（会議室）　②住田町生活改善センター（２階研修室）
●**個別相談**　随時受け付け
●**対象**　15～49歳のこれから働きたい、もしくは就職活動中の人やそのご家族、関係者
申問　いちのせき若者サポートステーション　おおふなとルーム
電　080-8219-4001（平日10時～17時）

お祝い・お悔やみ

10月届出分（敬省略）

ご誕生おめでとうございます

住所	氏名
川向	今井　茜花（せいか） 親の名前　父=智大、母=迪代

ご冥福をお祈りいたします

住所	氏名	年齢
田ノ上	大和田　國清 世帯主　大和田 國昭	91
中村	髙城　ヨシヲ 世帯主　髙城 秀夫	102
向川口	菊池　ヤエ子 世帯主　菊池 秀雄	95
小股	紺野　シゲヨ 世帯主　紺野 文彦	78
火の土	水野　昭一 世帯主　菅野 清美	89
中井	高橋　忠夫 世帯主　高橋 あき子	79
二反田	水野　弘助 世帯主　水野 芳輝	90
船作	小山　ツエ 世帯主　小山 富孝	95
天嶽	松田　厚子 世帯主　松田 茂	94

おわびと訂正

広報すみた10月号６ページ「五葉山神社大祭」の記事について、開催間隔に誤った記載がありました。お詫びして訂正いたします。

（正）「従来の周期に戻しての開催」
（誤）「５年ぶりの開催」

国民年金12月の出張相談

事前に一関年金事務所へ電話予約を

問 一関年金事務所
電 0191-23-4246

日付	会場	開催時間
10日(木)	奥州市役所(江刺総合支所)	10:30～15:30
17日(木)	陸前高田市役所	10:30～15:30
24日(木)	大船渡市役所	10:30～15:30

【ご協力のお願い】
年金相談にお越しの際は、基礎年金番号が確認できるもの（年金証書、振込通知書など）のほか、相談者本人であることが確認できるものをご持参ください。

休日当番医・歯科医

受診時は各医院へ電話確認を

日付	当番医　診察時間／9:00～17:00			当番歯科医　※受付は急患のみ　診察時間／9:00～12:00		
12月6日(日)	国保吉浜診療所	三陸町	45-2007	菅野歯科医院	住田町	46-2345
12月13日(日)	希望ヶ丘病院	高田町	53-1019	及川歯科医院	盛町	27-5582
12月20日(日)	菊田外科　泌尿器科	大船渡町	26-4075	気仙歯科クリニック	米崎町	55-3238
12月27日(日)	大津小児科ファミリークリニック	盛町	27-2673	広田歯科医院	米崎町	47-3393
12月30日(水)　年末年始	地ノ森クリニック	大船渡町	27-1721	吉田歯科医院	高田町	54-4566
12月31日(木)　年末年始	鳥羽医院	小友町	56-3515	渡辺歯科クリニック	猪川町	26-5100

おらいの自慢、聞いでけらっせ



（新田）
石山　秀雄 さん

3年越しに咲いたパイナップルの花

３年前に人からいただいたパイナップルを育て続け、このたび、花を咲かせた石山さん。以前はバナナの栽培にも挑戦しましたが、うまく育たなかったことから、別の植物を育ててみようとパイナップルの栽培を始めました。現在はパイナップルのほか、アボカドなども育てています。

栽培で特に大変なのが温度管理。南国の植物であるため、寒さに弱く、日々の管理には気を使うそうです。３年かけてようやく花を咲かせたパイナップル。石山さんは「実がなったら、家族みんなでおいしく食べたい」と、収穫の日を楽しみにしながら、今日も大切に育てています。

※皆さまの「知ってほしい」「話したい」ことなど情報をお待ちしております。

おいしく&ヘルシー Cooking♥ 減塩レシピ

免疫力向上＆認知症予防に!!

柚子の香りをいかして減塩しよう♪

秋鮭の柚子みそ焼き



材料　4人分

秋鮭……4切
A
- 味噌……小さじ4
- みりん……小さじ4
- 柚子のしぼり汁……小さじ2

（付け合わせ）
大葉……4枚
大根おろし……お好みで
柚子の輪切り……4枚

【1人分栄養量】

エネルギー	113kcal
たんぱく質	17.0g
脂質	2.9g
カルシウム	17mg
塩分	0.7g

鮭には、老化防止や記憶力向上に役立つDHA、血管年齢を若く保つEPAなどの栄養素を豊富に含んでいることから上手に活用しましょう!
また、魚はなるべく生魚を選んで味付けすることで、塩分を約半分に減らすことができます!

作り方

①ビニール袋にAの調味料を入れて混ぜ合わせ、鮭の切り身を加えて、約10分漬ける。
②ガスコンロの魚焼きまたはフライパンで、約10分両面をこんがりと焼く。
③お皿に盛り付け、大葉・大根おろし・柚子の輪切りを添える。

問 保健福祉課　電 46-3862

祝 100歳



11月9日に、100歳の誕生日を迎えられた佐藤トキハさん（火の土）に町や町社会福祉協議会（泉田義昭会長）などから、記念品が贈呈され、ご家族らと長寿をお祝いしました。

佐藤さんは、大正15年に大船渡市赤崎町で６人兄弟の２番目として生まれ、赤崎尋常小学校を卒業後、岐阜県大垣市の紡績工場へ働きに出ました。

その後、地元に戻った際に佐藤元吉さんと結婚し、元吉さんの出身である火の土へ移り住み、農業を営んでいました。

90歳まで畑仕事をしており、96歳で長女の朴澤和子さん宅へ引っ越すまでは草取りを続けていたそうです。

令和６年１月から大船渡市の成仁ハウス百年の里（山崎和彦施設長）の利用を開始し、現在では入居し穏やかに過ごしています。

編集後記

時に食欲は、私を試しているかのようで、新米に旬の味覚、温かい鍋料理……次から次へと現れるおいしいものの誘惑に、ついつい箸が進みます。Because I Love You。好きなものは好きなんです。食べたい気持ちと自制心、その境界線はなかなかグレーですね。　（林）

発行／住田町

〒029-2396　岩手県気仙郡
住田町世田米字川向88番地1
電 0192-46-2111（代）　FAX 0192-46-3515
URL　https://www.town.sumita.iwate.jp/
E-Mail　webad@town.sumita.iwate.jp

ホームページはこちらから▶

VEGETABLE OIL INK　古紙を配合した再生紙を使用しています